

ムーディーズによるギリシャの格下げについて

大和証券投資信託委託株式会社

格付け会社のムーディーズ・インベスターズ・サービス社(以下、ムーディーズ)は、6月14日(現地)、ギリシャの長期信用格付けを「A3」から「Ba1」に四段階引き下げました。見通しは「安定的」としています。

ムーディーズは「欧州とIMF(国際通貨基金)による支援策によって、同国の短期的な資金繰りに関するリスクはなくなった」とする一方、今回の格下げの理由として、「同国の経済成長に財政再建措置が与える影響と、計画通りに財政再建を実際に遂行することへの不透明感」を挙げています。

ムーディーズの分析では、同国の公的債務の対GDP(国内総生産)比は2013年までに150%程度に達し、この水準をピークとしてその後は改善に転じることをメインシナリオにしています。ただし、世界的に景気が停滞し外需が期待しにくい環境下であって、財政引き締めによる景気下押し効果への不透明感が強まっていることが、同国の信用力の低下につながった格好です。

一方、ギリシャ政府は既に財政再建策を実行に移しており、今回の格下げに関しても引き続き財政赤字縮小への努力を続ける旨をコメントしています。2010年の最初の4カ月で、ギリシャ政府は既に歳出を前年比7.9%削減し、同期間の財政赤字は63億ユーロと前年同期比で42%減少し、これは当初計画の前年同期比35%減少を超えるペースでの改善となっています。ムーディーズ自身も同国の構造改革の進展によって、財政再建計画は前倒しで達成される可能性もあることを指摘しています。

ムーディーズは事前に二段階以上の格下げを示唆していたことや、既にスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社が同国を投機的水準である「BB+」まで格下げしていたことから、市場では今回の格下げは広く予想されていました。ただし、債券市場ではソブリンリスク(国家の信用リスク)に対する警戒感が強い状況が続いており、翌15日の欧州市場では同ニュースを受けてギリシャ国債は利回り上昇して始まる相場展開となっています。6月14日現在では、ユーロ建ギリシャ国債利回りは、ドイツ国債利回りを5年債で7.25%、10年債で5.69%上回る水準でした。

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会